

こんしゅう せい ちよう
今週のことば「成長」

せいしよ ふくいんしよ
《聖書》マルコによる福音書 4:26-34

かみ くに
神の国のたとえ

マルコによる福音書を先入観をぬぎに
して読みますと、イエスが長々と話しを
する場面は見当たりません。何かの出来
事に対して、イエスの意見が述べられる
ことが多いです。

神の国についても、抽象的な話しをす
るのでなく、たとえば語りかけています。
たとえの題材も、日常によくみられるも
のを使っています。

「神の国」という表現は、現代の私た
ちにとって理解しにくいものです。教会
の歴史の中では、長いあいだ「天国」と
いう表現が使われてきました。これはマ
タイによる福音書の「天の国」という表
現に基づいています。マタイによる福音
書は、当時のユダヤ人キリスト者を対象
として書かれています。そのために、

「神」の名をみだりに呼ぶなかれという
戒めを忠実に守ろうとするユダヤ人の慣
例に従って、「神」という言葉のかわり
に、「天」という言葉でそこに住んでい
る方を表わしています。主の昇天の祝日
で見ましたように、聖書の時代の宇宙観
では、天は神の住まいというのがあたり
まえでした。しかし、現代の私たちは天

かみ す かんが
が神の住まいとは考えていません。です
から、「天国」も別の言葉で説明されな
ければなりません。

せい ちよう
成長

たとえを読んでみると、種が自然に成
長することが強調されています。また、
どんな小さな種でも、大きく成長する可
能性を持っているのです。

私たちは、どうしても自分のしたこと
にこだわります。しかし、一人の人間の
できることには限界があります。たくさ
んの人達の協力なしには生きていけませ
ん。さらに、自然の恵によっても生かさ
れています。

また、私たちは、見た目で物事を判断
してしまいます。あいつはだめな奴だと
きめつけてしまいます。その結果、これ
から成長する可能性のある目を摘んでし
まいます。

どんな場合でも、これでいいというこ
とはありません。常に改良していくこと
が必要なのです。人間も完成された人は
いません。お互いに成長していくことが
大切です。どんな人でもかわる可能性が
あるのです。私たち一人一人に、さらに
成長できる力が与えられているのです。

ねんかんたい しゅじつ ねん たきの
年間第11主日B年（滝野）